

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成 28 年 12 月 2 日

計画の名称	5 幹線道路へのアクセス強化を図り、モノ造りの輸送基盤を強化することで、産業や新たな企業立地を支援する道路整備		
計画の期間	平成25年度 ～ 平成27年度 (3年間)	交付対象	石川県 (福井県と連携)
計画の目標			

工業用地と物流拠点（金沢港、七尾港、小松空港、能登空港）を結ぶ道路の整備を行い、製品の輸送には欠かせない物流の基盤強化を図り、ICアクセス向上による時間短縮や、渋滞の緩和による輸送時間の定時性の向上で、モノ造りの輸送基盤を強化し、県内の工業団地の魅力アップにより、新たな企業立地や太平洋側からの企業移転を促進を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）	工業団地等の生産拠点と高速道路インターチェンジ、港湾、空港等の物流結節点を連絡する幹線道路網の整備を進めることにより、アクセス性の向上、物流の効率化を図る。		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H27末)	
高速ネットワーク確保率 (高速ネットワーク確保率) = 評価時点の整備済路線延長 / 「ダブルラダー結いの道」整備構想指定路線延長	約81%	約83%	約84%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	28,146百万円	A	28,011百万円	B	百万円	C	135百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.5%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-----	---	--------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
石川県において評価を実施	事業完了後
	公表の方法
	石川県ホームページで公開

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・金沢外環状道路 海側幹線Ⅲ期区間の完成により、沿線の「かたつ工業団地」から「環状鞍月交差点」までの移動時間が23分から10分へと短縮し、沿線上の白山ICへのアクセス性の向上が確認された。		
II 定量的指標の達成状況	指標（高速ネットワーク確保率）	最終目標値 84%	最終実績値 83.3%
		目標値と実績値に差が出た要因 事業の進捗により、当初想定していた路線での供用が延期となったため、わずかに目標値に届かなかった。平成28年度中に金沢美川小松線（徳光～小川）、南加賀道路などの完成道路が完成したため、ネットワーク確保率が84.2%となり、目標値の84%を達成した。	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	・金沢外環状道路 海側幹線Ⅲ期区間の完成により、沿線での商業施設の立地も進んでおり、平成23年度の1店舗から平成27年度には10店舗となっている。		

3. 特記事項（今後の方針等）

・平成27年2月の能越自動車道（七尾氷見道路）の開通や平成27年3月の北陸新幹線金沢開業など、石川県では新たな高速交通ネットワークの整備が進展することから、その効果を県内全域へ最大限波及させるためにも、幹線道路網の整備を進め、アクセス性の向上や物流の効率化を図る。